
クリスマスの季節に

悠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クリスマスの季節に

【Nコード】

N0046J

【作者名】

悠

【あらすじ】

彼女からのメールは
言葉でなくてメールで綴られたもの

あなたは自分の生まれた季節の意味を知っていますか？

病気がちな彼に送られた一通のメール

お金では買えないクリスマスプレゼントを貰ったのはいつの事だろ
う…？

(前書き)

あなたは誰かのために生きてますか？

病気になった時誰かのせいにしていませんでしたか？

自分をまた少し好きになれる

あなたの彼(彼女)の生まれた季節はいつですか？

あなたは何月生まれですか？

自分の生まれた月・季節が好きですか？

本当は夏に生まれたかった…

けれどもこれだけは仕方のない事で、一生自分から切り離せないのが誕生日

『夏生まれが良かったなあ…』

ボソツと呟くオレに彼女は聞く

「なんで？どの季節に生まれてもいいじゃん」

『だってよ…夏に生まれていたら、もっと丈夫な体になっていたかもしれないし。中途半端なんだよ…秋って』

暫く黙り込む。この会話がな時間、音のない時間がとても嫌いだ。

頭から「言わなければ良かった…」と後悔ばかりする。

一人寂しく家に帰り、携帯をふと見ると彼女からメールが届いていた。

「あなたは自分の生まれた季節が嫌い。
でも私はあなたの生まれた季節が好き。

秋は実りの季節

寒い冬に備えて蓄えるための生きて行く上で最も大事な季節。
私は冬生まれ。それぞれ生まれて来た季節には意味があるの。
あなたと出会ったのは春だったね。
温かくて居心地が良くて…

まるであなたは春みたいな人だよ。

だから自分の生まれた季節を嫌いにならないで！

夏に生まれたからと言って

あなたは丈夫な体になれた？

今を精一杯生きていてくれるだけで、私はそれだけで幸せです。」

嬉しさと悔しさ半分ずつの涙が流れる。

病気ばかり繰り返して

強くなれない自分を誰かのせいにしたかった毎日…

もう二度と言わないと誓ったその時は

彼女と初めて一緒にすごすクリスマス直前だった。

(後書き)

励まされる言葉はずっと心に残るもので、必ず支えになるものでもあります。

あなたの大切な人をそっと思い浮かべてみてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0046j/>

クリスマスに季節に

2011年10月6日09時56分発行